

2023 年度

総合学力評価テスト 文系総合

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

1. 問題冊子は監督者の指示があるまでは開いてはいけません。
2. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。問題冊子は受験番号のみを記入してください。
3. 試験問題の内容に関する質問には答えられません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
4. 受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
5. 解答用紙は持ち帰らないでください。
6. 漢字で書くべきところは漢字で書いてください。
7. 字数の指定がある場合には下記のきまりにしたがってください。
 - ・横書きで、最初の1マス目から書き始めること。
 - ・段落をかえたり、文章の途中のマスをあけたりしないこと。
 - ・句読点（「。」、「、」）やかっこなども1字と数え、行の最初になっても構わない。
 - ・数字を書くときは、1マスに1字を書くこと。

(例)

1	0	年	前	の	世	界	を	見	て
、									

受 験 番 号	
------------------	--

- 1 父親と一朗さんが選挙の話をしています。〔会話文〕を読み、〔資料〕を見て、あとの(1)～(6)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

- 一朗 「お父さん、今日学校で選挙について学習したんだ。去年は参議院議員の選挙があったけど、お父さんは投票に行ったよね。」
- 父親 「もちろん、行ったよ。大切な一票だからね。」
- 一朗 「現在の①日本の選挙には基本原則が4つあることを学んだんだ。一定の年齢以上のすべての国民が選挙権を持つ『普通選挙』、一人一票の『平等選挙』、代表を直接選ぶ『直接選挙』、どの政党や候補者に投票したかを他人に知られないように無記名で投票する『秘密選挙』の4つだよ。」
- 父親 「よく知っているね。でも、問題もあるんだ。一人の議員が当選するために多くの得票が必要な選挙区と、少ない得票でも当選できる選挙区があるため、それぞれの有権者が持つ一票の価値に差が生じることになるんだよ。この問題を一票の格差と言うんだよ。一票の格差が大きいと、選挙の4つの基本原則のうちの『②』に違反していると判断されることがあるんだ。」
- 一朗 「参議院議員選挙の投票方法はどうなっているの。」
- 父親 「③参議院議員選挙では、選挙区制と比例代表制の2つの方法で投票するんだよ。選挙区制では候補者名を、比例代表制では候補者名か政党名を用紙に記入して投票するんだ。④比例代表制は非拘束名簿式を基本としているんだよ。」
- 一朗 「何か複雑で、めんどうだなあ。」
- 父親 「一朗も選挙のことをよく学んで、18歳になったらめんどうだと思わずに、投票に行くべきだと思うよ。」

〔資料1〕衆議院議員選挙における選挙権

法律が制定された年	年齢・性別	納税額	総人口に対する有権者の比率
1889年	25歳以上の男性	15円以上	約1.1%
1900年	25歳以上の男性	10円以上	約2.2%
1919年	25歳以上の男性	3円以上	約5.5%
1925年	25歳以上の男性	制限なし	約20.0%
1945年	20歳以上の男女	制限なし	約48.7%
2015年	18歳以上の男女	制限なし	約83.6%

(総務省ホームページより作成)

- (1) 〔会話文1〕の下線部①について、〔資料1〕は日本の衆議院議員選挙における選挙権の拡大を表したものです。

〔資料1〕を参考に、次の文中の□1・□2に当てはまる言葉を、ア～エよりそれぞれ1つずつ選び、記号で答えましょう。

1925年には、新たに□1のために普通選挙に近づきました。
また、1945年には、新たに□2のために普通選挙となりました。

- ア 18歳以上の人に選挙権が与えられた
- イ 納税額とは関係なく選挙権が与えられた
- ウ 女性に選挙権が与えられた
- エ 総人口に対する有権者の比率が50%以上となった

- (2) 〔会話文1〕の□②に当てはまる言葉を、〔会話文1〕の選挙の基本原則の中から選び、答えましょう。

〔資料2〕 令和4年参議院議員通常選挙における選挙区別有権者数と定数

地方	選挙区	選挙当日の有権者数(人)	定数	地方	選挙区	選挙当日の有権者数(人)	定数
北海道	北海道	4,465,577	3	近畿	三重県	1,437,183	1
東北	青森県	1,073,060	1		滋賀県	1,154,141	1
	岩手県	1,034,059	1		京都府	2,094,931	2
	宮城県	1,921,486	1		大阪府	7,299,848	4
	秋田県	833,368	1		兵庫県	4,558,268	3
	山形県	899,997	1		奈良県	1,129,608	1
	福島県	1,564,668	1		和歌山県	796,272	1
関東	茨城県	2,409,541	2		中国	鳥取県・島根県	1,019,771
	栃木県	1,620,720	1	岡山県		1,562,505	1
	群馬県	1,608,605	1	広島県		2,313,406	2
	埼玉県	6,146,072	4	山口県		1,132,957	1
	千葉県	5,261,370	3	四国	徳島県・高知県	1,213,323	1
	東京都	11,454,822	6		香川県	808,630	1
	神奈川県	7,696,783	4		愛媛県	1,135,046	1
中部	新潟県	1,866,525	1	九州・沖縄	福岡県	4,221,251	3
	富山県	875,460	1		佐賀県	672,782	1
	石川県	941,362	1		長崎県	1,107,592	1
	福井県	635,127	1		熊本県	1,450,229	1
	山梨県	684,292	1		大分県	950,511	1
	長野県	1,721,369	1		宮崎県	898,598	1
	岐阜県	1,646,587	1		鹿児島県	1,337,184	1
	静岡県	3,037,295	2		沖縄県	1,177,144	1
	愛知県	6,113,878	4				

(総務省ホームページより作成)

(3) 〔会話文1〕の下線部③について、〔資料2〕は令和4年参議院議員通常選挙における選挙区別有権者数と定数をまとめたものです。この〔資料2〕を見て、次のア～エで正しいものには○を、まちがっているものには×を書きましょう。

- ア 2つの県を合わせて、定数が1の選挙区が中国・四国地方にはある。
- イ 有権者数が500万人以上の都道府県は、全て定数が4以上である。
- ウ 関東地方1都6県の定数の合計は、東北地方6県の定数の合計の3倍以上である。
- エ 東京都での1定数あたりの有権者数は、福井県での1定数あたりの有権者数の4倍以上である。

〔資料3〕非拘束名簿式の当選者の決め方

非拘束名簿式とは、各政党が順位を決めずに候補者名簿を作り、有権者は候補者名または政党名のどちらかを書いて投票します。候補者名の得票数と政党名の得票数を合計したものを、政党の得票総数として、各政党の当選者数はドント式で分配されます。各政党での当選者は、個人としての得票数が多い候補者から順に当選が決まります。

ドント式とは、当選者が6名の場合、下の表のように、各政党の得票総数を1から順に正の整数で割り、その商の大きい順に議席数を分配する方式です。

政党名	△△党	〇〇党	××党
得票総数	1200	1500	900
÷ 1	1200	1500	900
÷ 2	600	750	450
÷ 3	400	500	300
当選者数	2人	3人	1人

(4) 〔会話文1〕の下線部④について、〔資料3〕を見て、非拘束名簿式の比例代表選挙での結果が、以下の〔選挙の結果〕のようになり、当選者数が7名だったとき、次の各問いに答えましょう。

- ① さくら党とたんぼぼ党の当選者数を、それぞれ答えましょう。
- ② 当選した全ての候補者を、アルファベットで答えましょう。

〔選挙の結果〕

政党名での得票数

さくら党 15000 票	すみれ党 10000 票	たんぼぼ党 8000 票	ひまわり党 5500 票
--------------	--------------	--------------	--------------

候補者名での得票数

さくら党候補者	すみれ党候補者	たんぼぼ党候補者	ひまわり党候補者
A 候補 500 票	G 候補 900 票	K 候補 600 票	N 候補 350 票
B 候補 1000 票	H 候補 250 票	L 候補 100 票	O 候補 150 票
C 候補 700 票	I 候補 350 票	M 候補 300 票	
D 候補 150 票	J 候補 500 票		
E 候補 600 票			
F 候補 50 票			

〔会話文2〕

父 親 「日本の選挙では、⑤投票率についていろいろな議論があるんだよ。」

一 朗 「ほくも18歳になったら選挙権が得られるけど、政治のことはよくわからないな。」

父 親 「一朗も政治のことをよく学んで、自分の意思を大切にすることも投票に行くべきだと思うよ。選挙は自分の意思を示す大切なものなんだ。一朗の学校でも、生徒会の選挙や、クラスでの決め事があるとき、投票することがあるでしょ。その時には、しっかりと考えて投票するといいよ。」

一 朗 「そうだ、今度、⑥文化祭の時にクラスで何をやるかをみんなで投票するんだって。この間の話し合いでは、10個もの案が出て、次回に採決をすることにしたんだけど、先生からは、どんな方法で決めるのかを考えるよう、クラスの文化祭の係に話があったんだ。」

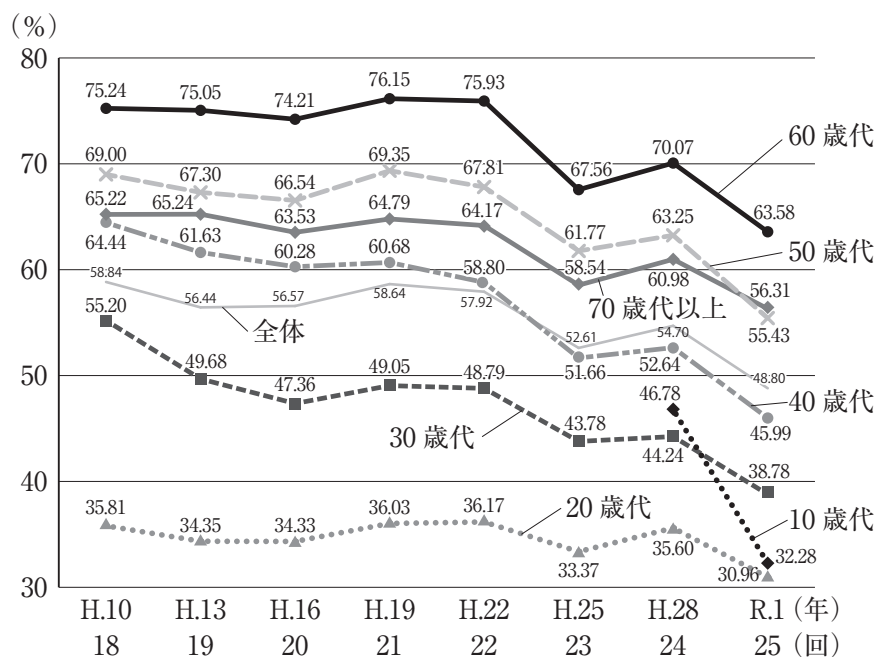
父 親 「採決方法も大事だってことがわかるね。一朗のクラスは35人だったね。1回の投票で過半数にならない場合は、多くの生徒の意見が通らなかったことになるからね。」

一 朗 「先生は、じゃんけんやくじ引きで決めるのはダメだって。」

父 親 「どんな決め方にも、長所や短所があるけど、みんなが納得する決め方をすることも大切だね。」

一 朗 「どんな決め方になるかわからないけど、ほくもしっかりと考えて、投票をすることにするよ。」

〔資料4〕 参議院議員通常選挙における年代別投票率の推移



年	H.10	H.13	H.16	H.19	H.22	H.25	H.28	R.1
回	18	19	20	21	22	23	24	25
10歳代							46.78	32.28
20歳代	35.81	34.35	34.33	36.03	36.17	33.37	35.60	30.96
30歳代	55.20	49.68	47.36	49.05	48.79	43.78	44.24	38.78
40歳代	64.44	61.63	60.28	60.68	58.80	51.66	52.64	45.99
50歳代	69.00	67.30	66.54	69.35	67.81	61.77	63.25	55.43
60歳代	75.24	75.05	74.21	76.15	75.93	67.56	70.07	63.58
70歳代以上	65.22	65.24	63.53	64.79	64.17	58.54	60.98	56.31
全体	58.84	56.44	56.57	58.64	57.92	52.61	54.70	48.80

※この表のうち、年代別の投票率は、全国の投票区から、回ごとに142～188投票区を抽出し調査したものです。

※第24回の10歳代の投票率は、全数調査による数値です。

(総務省『衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移』より作成)

(5) 〔会話文2〕の下線部⑤について、〔資料4〕は平成10年から令和元年までの参議院議員通常選挙における年代別投票率(選挙権を持つ人のうち実際に投票した人の割合)をまとめたものです。

① この資料から読み取れる、日本の投票率における問題点を書きましょう。

② ①はなぜ問題なのか、説明しましょう。

(6) 〔会話文2〕の下線部⑥について、〔会話文2〕の内容を参考にして、あなたが一朗さんのクラスの文化祭の係だった場合、どのような採決方法をとりますか。また、その採決方法を選んだ理由を書きましょう。

- 2 小学6年生のさくらさんとはやしさんが、学校給食に関して先生と話をしています。次の〔会話文〕を読み、〔資料〕を見て、あとの(1)～(6)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

さくら 「^{おきなわ}沖縄に転校した友人と話をしていた、学校の給食でゴーヤーチャンプルーなどの沖縄料理が出されるという話を聞きました。」

はやし 「^{こんだて}地域によって献立にちがいがあがるのですね。改めて、今まで当たり前のように食べていた給食について知りたいです。」

先生 「なるほど、良いですね。①学校給食は、^{じっし}実施方法に種類があります。〔資料1〕は、全国の給食の^{じょうきょう}実施状況の調査報告です。私たちの学校では、ご飯やパン類、そしておかずと牛乳がそろっている完全給食です。他にはおかずと牛乳のみの補食給食と、牛乳のみのミルク給食があります。」

はやし 「牛乳だけなのですか？」

先生 「ミルク給食とは、家から持ってきたお弁当と学校からの牛乳が昼食という方法です。」

さくら 「ということは、牛乳は絶対に飲まないといけないのですか？」

先生 「基本的には、成長期に必要なカルシウムをとるために、牛乳は全国で給食に組みこまれていますね。毎日の献立は、②なるべく多くの食材から、バランスよく栄養を取ることができるように、考えられているのです。」

さくら 「家でも、スナック菓子やお肉ばかり食わず、野菜も食べないとダメだと言われます。給食も同じですね。」

〔資料1〕 学校給食実施状況等調査

区分		全国児童総数	完全給食 (%)	補食給食 (%)	ミルク給食 (%)	計 (%)
小学校	平成20年	7,121,781	98.7	0.3	0.3	99.3
	平成22年	6,993,376	98.8	0.2	0.2	99.3
	平成24年	6,764,619	98.8	0.2	0.2	99.2
	平成26年	6,600,006	98.9	0.2	0.2	99.2
	平成28年	6,386,206	98.9	0.1	0.1	99.2
	平成30年	6,427,867	98.8	0.1	0.1	99.1
中学校	平成20年	3,603,220	69.1	0.4	10.3	79.7
	平成22年	3,572,652	70.3	0.4	8.7	79.4
	平成24年	3,569,010	71.5	0.3	7.2	79.1
	平成26年	3,520,730	75.6	0.3	6.4	82.3
	平成28年	3,357,538	78.0	0.3	5.8	84.1
	平成30年	3,253,100	79.0	0.2	3.6	82.8

小数点以下第二位を四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

(文部科学省ホームページより作成)

(1) 〔会話文1〕の下線部①について、〔資料1〕を見て正しい説明をア～エより1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 小学校でも中学校でも、全国児童総数は調査ごとに減少している。
- イ 小学校でも中学校でも、補食給食とミルク給食の実施率は、調査ごとに増加している。
- ウ 小学校での完全給食の実施率は、90%を下回ることはないが、中学校での完全給食の実施率は、75%から85%の間で変化している。
- エ 給食の実施率の合計は、小学校では90%を下回ることはないが、中学校では90%を上回ることはない。

(2) [会話文1]の下線部②について、[資料2]を参考にして、給食1食で摂取が推奨されるビタミンCの含有量を超えるように食材を選び、それぞれの食材のビタミンCの含有量と、それらの合計を答えましょう。なお、小学生が1日に必要なビタミンCは100mgとします。次の条件にしたがい、解答らんに合わせて答えましょう。

*条件

- ・1日に推奨されるビタミンCの3分の1を超えることとする。
- ・緑黄色野菜とその他の野菜のどちらも使用し、食材はそれぞれ25gずつ使用する。
- ・果物は使用しなくても良い。
- ・食材は、4種類となるように組み合わせる。

[資料2] 食材100g当たりのビタミンCの含有量

種類	食材名	ビタミンC含有量 (mg)
緑黄食野菜	さやえんどう	44
緑黄食野菜	日本かぼちゃ	16
緑黄食野菜	ピーマン	76
緑黄食野菜	ほうれんそう	60
緑黄食野菜	トマト	28
その他の野菜	かぶ	16
その他の野菜	ズッキーニ	20
その他の野菜	れんこん	48
その他の野菜	レタス	8
果物	みかん	32
果物	オレンジ	60
果物	バナナ	16

(文部科学省ホームページより作成)

〔会話文2〕

先生 「では次に、給食を残すとそれらはどうなるか、考えてみましょう。」

はやし 「そういえば、先月の献立表に、魚が献立に入っている日に残す人が多いと説明がありました。」

さくら 「しっかりと栄養が考えられている給食だから、好き嫌いで残すのは、やっぱり良くないですね。」

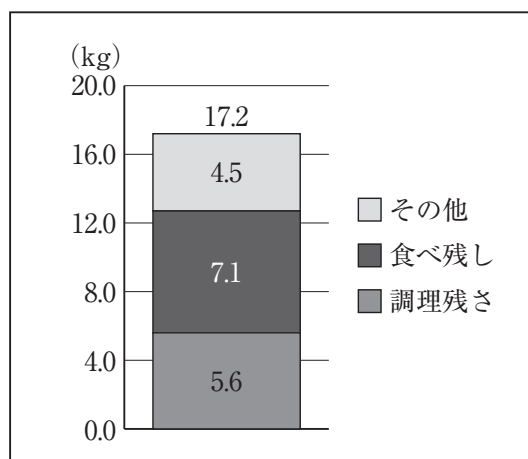
先生 「その通りです。〔資料3〕は、③児童・生徒1人当たりの年間の食品廃棄物発生量のグラフになります。」

さくら 「1人当たりで、1年間に17.2kgが廃棄されているのですね。おどろきです。調理残さとは何ですか？」

先生 「調理残さとは、調理の時に発生した生ごみです。」

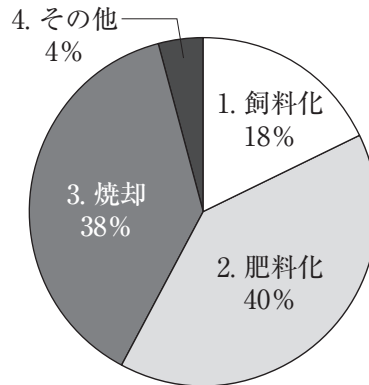
はやし 「生ごみもふくめて、17.2kg！ 思っていた以上の量です。」

〔資料3〕 児童・生徒1人当たりの年間の食品廃棄物発生量（平成25年度）



（環境省ホームページより作成）

〔資料4〕 学校給食からの食品廃棄物の再生利用率（平成25年度）



（環境省ホームページより作成）

- (3) 〔会話文2〕の下線部③について、次の文章を読み、〔資料3〕と〔資料4〕を参考にしてあとの問いに答えましょう。

児童・生徒1人当たりの年間の食品廃棄物発生量は、17.2kgです。さくらさんとはやしさんのクラスは32名なので、クラス全員分の食品廃棄物量を計算すると、年間 あ kg になります。次に、食品廃棄物のうちで焼却される量を計算すると、このクラス全員分の場合は、1年間に い kg となります。食品廃棄物のなかで、焼却処分が増えることの問題は、 う です。

- ① あ と い に当てはまる数字を答えましょう。答えは、小数第二位を四捨五入して答えましょう。
- ② う に当てはまるように、あなたの考えを書きましょう。

〔会話文3〕

はやし 「献立表に、町田で栽培さいばいされた小松菜を使用しています、という説明がありました。」

先 生 「良いところに気がつきましたね。地域で生産されたものを学校給食で積極的に消費するという取り組みが広がっています。このように、地域で生産されたものを地域で消費することを、何といいますか？」

さくら 「地産地消です。」

先 生 「正解です。〔資料5〕は、④各都道府県が給食にその地域の食材をどれだけ使用しているかや、国産品をどれだけ使用しているかを表しています。」

さくら 「地場産物とは何ですか？」

先 生 「地場産物とは、地域でとれた産物のことです。この表の金額ベースというのは、給食における地場産物の使用を、量ではなく金額をもとに計算しています、ということです。」

さくら 「ところで、なぜ地産地消が良いことなのですか？ 私は、有名な産地のものを使用するのが良いことだと思います。北海道のジャガイモやトウモロコシなどが有名ですから、それらを使用した方が良いと思います。」

はやし 「でも、家の近くでトウモロコシ畑をみつけたことがあります。学校と同じ地域で生産されたものだと、⑤から、良いことなんじゃないでしょうか？」

先 生 「はやしさん、良い意見ですね。」

〔資料5〕 令和3年度学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査（金額ベース）

地方	都道府県	地場産物 (%)	国産食材 (%)	地方	都道府県	地場産物 (%)	国産食材 (%)
北海道 東北	北海道	72.7	89.6	近畿	三重県	59.5	88.9
	青森県	70.9	90.4		滋賀県	54.6	92.3
	岩手県	57.9	89.4		京都府	17.7	91.2
	宮城県	54.5	88.9		大阪府	6.6	87.1
	秋田県	50.1	83.6		兵庫県	46.2	85.8
	山形県	58.7	89.5		奈良県	32.4	83.3
	福島県	64.1	88.2		和歌山県	28.4	90.3
関東	茨城県	71.3	89.8	中国	鳥取県	80.8	97.5
	栃木県	76.4	92.5		島根県	72.2	95.9
	群馬県	54.4	84.5		岡山県	59.0	87.4
	埼玉県	42.0	88.5		広島県	57.4	88.2
	千葉県	52.6	91.8		山口県	85.2	97.5
	東京都	6.8	87.1	四国	徳島県	66.3	87.4
	神奈川県	31.4	81.6		高知県	67.1	95.7
			香川県		56.1	86.3	
中部	新潟県	61.9	88.6	愛媛県	74.3	94.2	
	富山県	57.0	87.8		九州 沖縄	福岡県	52.1
	石川県	59.2	89.5	佐賀県		55.1	84.6
	福井県	36.8	90.2	長崎県		71.1	88.5
	山梨県	56.2	86.1	熊本県		64.0	90.1
	長野県	69.5	97.7	大分県		68.0	88.7
	岐阜県	62.0	87.7	宮崎県		64.4	89.1
	静岡県	61.0	91.0	鹿児島県		65.8	86.3
	愛知県	58.9	88.8	沖縄県		39.1	78.7
			全国平均			56.0	89.0

（文部科学省ホームページより作成）

(4) [会話文3] の下線部④について、[資料5] を参考に、正しい説明をア～エより1つ選び、記号で答えましょう。

ア 関東地方において、地場産物使用率は栃木県^{とちぎ}が最も高いが、国産食材使用率だと千葉県が最も高い。

イ 九州地方において、地場産物使用率は長崎県^{ながさき}が最も高く、国産食材使用率でも長崎県が最も高い。

ウ 京都府は、地場産物使用率が全国平均を下回っているが、国産食材使用率は平均を上回っている。

エ 山口県は、地場産物使用率が全国で最も高く、国産食材使用率でも最も高い。

(5) [会話文3] の ⑤ に当てはまるように、あなたの考えを書きましょう。

〔会話文4〕

はやし 「毎日の給食を考えるだけで、栄養素や食品ロスなど多くのことに気がつくことができました。」

先生 「そうですね。給食はただ食べるためだけのものではありません。次は、授業でも取り上げているSDGsを通して、給食を考えてみましょう。」

さくら 「フードロス問題や地産地消のことは、SDGsを通して説明ができます！」

先生 「その通りです。ちょっとおもしろいものをいっしょに見ましょう。〔資料6〕は、昭和29年に公布された学校給食法の目標部分です。」

はやし 「約70年前の目標ですが、今でも大切にすべき部分があるように思います。」

先生 「よい気づきですね。この法律に項目を追加していくことで、今でも運用しているのです。では、⑥具体的に学校給食法の目標と〔資料7〕のSDGsとのつながりを考えてみましょう。」

はやし 「SDGsとのつながりですか？」

先生 「そうです。SDGsとのつながりを考えることで、現在、まだ解決されていない課題が、約70年前から重要だったことに気がつくかもしれません。例えば、学校給食法の第二条の四は、SDGsの何番とつながりがあると思いますか？」

さくら 「食生活が自然の恩恵の上に成り立つ……だから、SDGsの14番と15番につながりがあると思います。具体的には、給食で使用されている食材がどのような環境で栽培されたものなのか調べることで、海や陸の豊かさを守るための取り組みを知ることができると思います。」

先生 「とても良い説明ですね。」

〔資料6〕 学校給食法における学校給食の目標

- 第二条 学校給食を実施するに当たっては、義務教育諸学校における教育の目的を実現するために、次に掲げる目標が達成されるよう努めなければならない。
- 一 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
 - 二 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
 - 三 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
 - 四 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
 - 五 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
 - 六 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
 - 七 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

(学校給食法より抜粋)

〔資料7〕 SDGs (持続可能な開発目標)



(国際連合広報センター)

- (6) 〔会話文4〕の下線部⑥について、〔資料6〕の「第二条の二」の目標と特につながりがあると考えられる〔資料7〕のSDGsの番号を2つ書き、その番号を選んだ理由を150字以内で説明しましょう。

受験番号	氏名

1

(1)

1		2	
---	--	---	--

(2)

--

(3)

ア		イ		ウ		エ	
---	--	---	--	---	--	---	--

(4)

①	さくら党	たんぽぽ党
②		

下の欄には
記入しない

--

1

(1)

--

(2)

--

(3)

--

(4)

--

--

(5)

①	
②	

(6)

採決方法
理由

下の欄には
記入しない

(5)

--

(6)

--

--

2の解答欄は、裏にあります。

2

(1)

Empty rectangular box

(2)

選んだ野菜	給食1回分のビタミンC含有量
	mg
	mg
	mg
	mg
合計	mg

(3)

①

あ		い	
---	--	---	--

②

Large empty rectangular box

(4)

Empty rectangular box

下の欄には
記入しない

2

(1)

Empty rectangular box

(2)

Empty rectangular box

(3)

Empty rectangular box

(4)

Empty rectangular box

Empty rectangular box

(5)

Large empty rectangular box

(6)

選んだ番号

Empty rectangular box

Empty rectangular box

理由

100

150

下の欄には
記入しない

(5)

Empty rectangular box

(6)

Empty rectangular box

Empty rectangular box